

普及センターNews No.195

海部農林水産事務所農業改良普及課

津島市西柳原町1-14 〒496-8532

☎ 0567-24-2111(代表) FAX 0567-25-8943

「レンコン」で、ラジヘリによる薬剤散布実施

5月30日(木)、愛西市のレンコンほ場で、ラジコンヘリによる薬剤散布が行われました。

レンコン栽培では通常、動力噴霧機で薬剤散布しますが、水田での作業のため重労働で、作業時間もかかります。このため、昨年度、ラジコンヘリによる殺虫剤(粒剤)を散布する実演会を行いました。今年度は生産者に希望を募ったところ、約10ha、40筆での実施となりました。

当日は農業改良普及課職員が、飛行や移動に要する時間、風圧、周辺への飛散の有無などを調査しました。この結果、防除作業の省力化・効率化が期待される結果が得られました。また、前日までにJAが中心となって、実施ほ場の確認や、周囲への配慮など万全を期しました。今後も新技術の導入など、関係機関と連携をとりながら進めていきます。



ラジヘリでの薬剤散布状況

クルクマ「アイルージュ」がトレードフェアで好評



クルクマ研究会のコーナー

海部花き連クルクマ研究会(6名)は、5月25日(土)、豊明花き市場で開催されたトレードフェア(見本市)に、「アイルージュ」をはじめとしたクルクマの鉢花を出展しました。

同研究会は30~40歳代の若手生産者で構成され、愛知県農業総合試験場育成の「アイルージュ」を中心に栽培しています。平成30年度は、6~9月に「アイルージュ」を約8,000鉢出荷しました。

トレードフェアへ初出展した昨年8月は、9月出荷分の注文販売のみでしたが、今年度は販売促進のため2回の出展を予定しています。今回は6月出荷分からの注文販売を行ったところ、特に「アイルージュ」の3号鉢が好評でした。

高温耐性品種「なつきらり(愛知123号)」のブランド化推進

「なつきらり(愛知123号)」は愛知県農業総合試験場が育成した高温耐性品種です。熟期、食味、収量はコシヒカリと同等で、猛暑の年でも「コシヒカリ」に比べ白未熟粒の発生が少ないため、良食味と外観品質を確保できる品種として期待されています。



なつきらり

コシヒカリ

玄米の外観品質の比較(写真:愛知県農業総合試験場)

平成29年度には、愛知県とJAあいち経済連が中心となって「愛知123号ブランド化推進協議会」を設立し、「なつきらり」の「特A」(日本穀物検定協会が実施する米の食味ランキングの最高評価)取得とブランド化に向けて、関係機関一丸となって取り組んでいます。

管内では、今年度は4か所、約1.2haで試験栽培を行っています。令和2年産からは一般販売に向け、愛知県内で100haの栽培を予定しています。なお、栽培を希望する生産者は、協議会が示す要件を満たすと同時に、栽培基準に沿って栽培していただく方針としています。

農業者組織の役員紹介(敬称略)

海部農業経営者の会

会長:中野 則義(愛西市)
副会長:三輪 明広(大治町)
副会長:加藤與志和(蟹江町)

愛知県農村生活アドバイザー協会海部支部

支部長:鬼頭 弘子(愛西市)
副支部長:小坂井恒子(弥富市)

海部青年農業士の会

会長:渡辺 善文(愛西市)
副会長:渡邊 紘士(弥富市)

農村輝きネット・海部

会長:笹野 明美(あま市)
副会長:大内 浪子(愛西市)

海部4Hクラブ連絡協議会

会長:堀田 貴義(愛西市)
副会長:横井 千広(愛西市)
副会長:中野 雅仁(愛西市)

海部営農受託協議会

会長:原 宜延(あま市)
副会長:藤松 輝己(弥富市)
副会長:服部 貢(愛西市)

愛知県立農業大学校 令和2年度学生募集

愛知県立農業大学校は、全国一の農業用施設面積を誇る2年間の専修学校です。全寮制による実践的なカリキュラムで農業を学ぶことができます。

農学科:定員100名

専攻:鉢物・緑花木、切花、作物、果樹、露地野菜、施設野菜、酪農、養豚・養鶏

□入試日程等詳しい情報は農大HPから入手できます。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>

□問い合わせは愛知県立農業大学校教育部学務科まで

☎0564-51-1602



農業大学校本館棟